

# **TRANSACTION**

2026年8月期 第1四半期決算短信補足説明資料

株式会社 トランザクション  
2026年1月14日

# 2026年8月期1Q決算ポイント

## 全体

売上高、利益、利益率のいずれも1Qとして過去最高を更新

## 製品分類別売上

### 【売上高伸長の主要因】

エンタメ（IP）・推し活需要の拡大や大型案件の獲得などにより、各製品カテゴリーの売上が伸長

## eコマース

### 【利益率向上の主要因】

相対的に利益率の高いDtoCサイト売上が好調に推移したことにより、売上総利益率が向上。

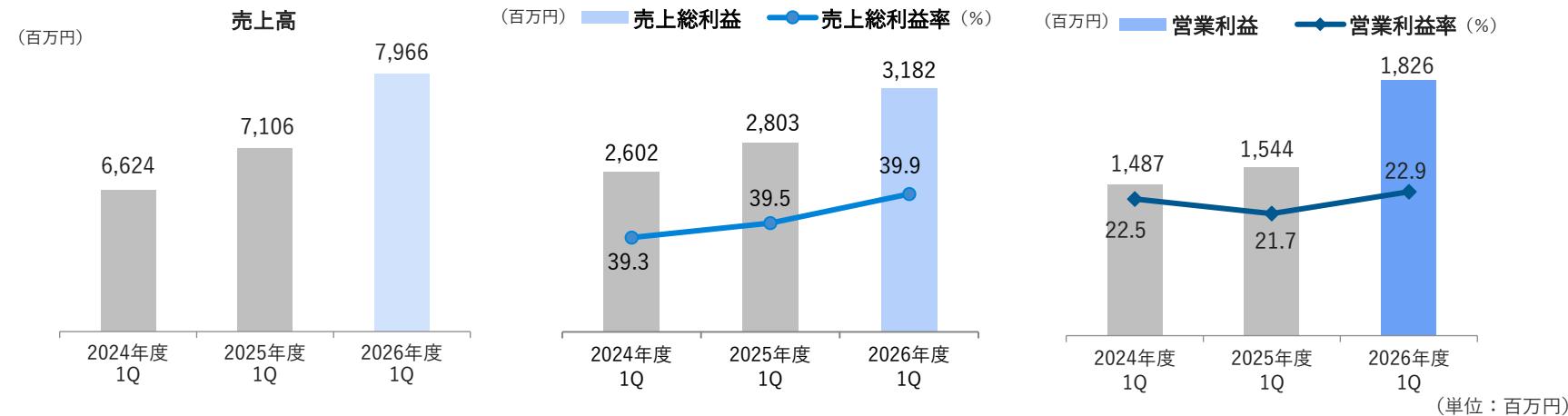
## 販管費

### 【販売費及び一般管理費増加の主要因】

人件費や売上連動による費用の増加、加えて、eコマースの売上拡大を目的としたWeb広告施策費用が増加

# 業績の推移

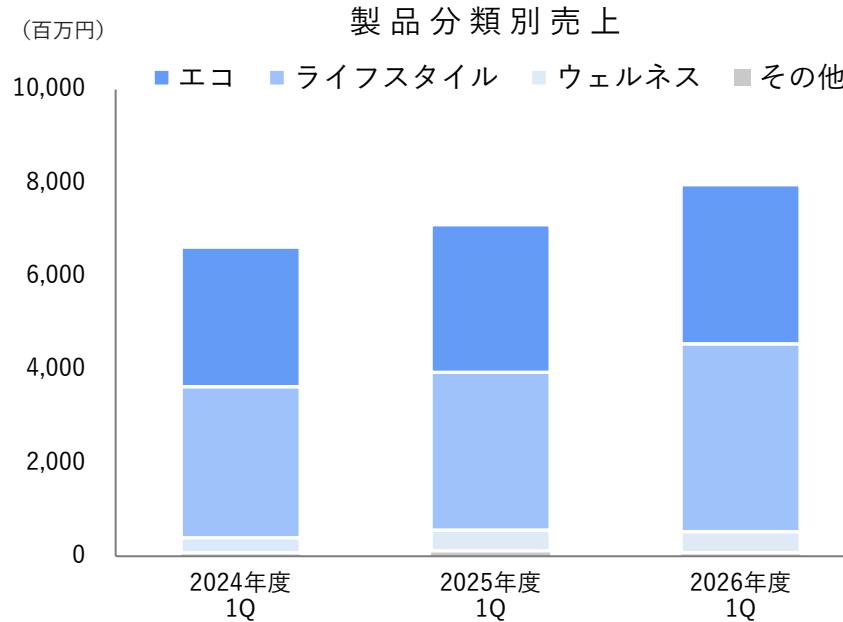
## ■ 売上高、利益、利益率のいずれも1Qとして過去最高を更新



科 目	2024年度 1Q	2025年度 1Q	2026年度 1Q	YoY
売上高	6,624	7,106	7,966	112.1%
売上総利益 (売上総利益率)	2,602 (39.3%)	2,803 (39.5%)	3,182 (39.9%)	113.5%
営業利益 (営業利益率)	1,487 (22.5%)	1,544 (21.7%)	1,826 (22.9%)	118.3%
経常利益 (経常利益率)	1,518 (22.9%)	1,567 (22.1%)	1,859 (23.3%)	118.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	1,002 (15.1%)	1,045 (14.7%)	1,222 (15.3%)	117.0%

# 製品分類別売上

- エンタメ（IP）・推し活需要の拡大や大型案件の獲得などにより、各製品カテゴリーの売上が伸長



## POINT

### ◆エンタメ（IP）

- ・ゲーム業界、アニメ・漫画業界が引き続き好調に推移。

### ◆セールスプロモーション

- ・大型キャンペーン案件を複数獲得。

(単位：百万円)

製品分類別売上	2024年度 1Q	2025年度 1Q	2026年度 1Q	YoY
エコプロダクツ	2,991	3,160	3,413	108.0%
ライフスタイルプロダクツ	3,234	3,381	4,021	119.0%
ウェルネスプロダクツ	323	445	453	102.0%
デザインその他	75	119	77	64.6%
合計	6,624	7,106	7,966	112.1%

# e コマース

- 相対的に利益率の高いDtoCサイト売上が好調に推移したことにより、売上総利益率が向上。eコマース売上の構成比率は30%超

## 【eコマース売上推移】

(単位：百万円)

e コマース	2024年度 1Q	2025年度 1Q	2026年度 1Q	YoY
売上高	1,456	2,037	2,423	118.9%
連結売上高に占める売上割合	22.0%	28.7%	30.4%	+ 1.7pt

## 【eコマース売上内訳】

(単位：百万円)

e コマース 売上高内訳	2024年度 1Q	2025年度 1Q	2026年度 1Q	YoY
BtoBサイト	760	1,190	1,292	108.6%
DtoCサイト	695	847	1,131	133.5%
合 計	1,456	2,037	2,423	118.9%

### ◆ BtoBサイト

- 既存顧客のマーケティング支援強化や、新規顧客の獲得により、売上は堅調に推移。

### ◆ DtoC※サイト

- 販促STYLE、オリジナルグッズプレス、オリジナルグッズドットコムなどの自社サイトにおいて、SEO対策の強化による検索順位の向上やWeb広告の出稿などの効果により、売上は好調に推移。

※「Direct to Consumer」の略で、メーカーが自社で企画・製造した商品を卸売業者や店舗などの中間業者を介さず、直接最終顧客に販売するビジネスモデル

# 販売費及び一般管理費の主な増加要因

科 目	2024年度 1Q	2025年度 1Q	2026年度 1Q	YoY
販売費及び 一般管理費	1,114	1,259	1,355	107.6%

## 販売費及び一般管理費の主な増加要因

1. 社員の処遇向上および、前年度に採用したエンタメ(IP)分野を中心とした人員の拡充により、人件費の増加（前年増減額 +47百万円）
2. 売上増加に連動した出荷運賃や販売手数料が増加（前年増減額 + 17百万円）
3. eコマースの売上拡大を目的としたWeb広告施策の強化により、広告宣伝費が増加（前年増減額 + 16百万円）

# 2026年度1Qの状況と通期業績予想

## ■ 通期の業績予想達成に向け、順調な立ち上がり

科 目	2026年度 1Q実績	前年 増減額	YoY	2025年度 実績	2026年度 計画	YoY
売上高	7,966	860	112.1%	27,453	29,500	107.5%
売上総利益 (売上総利益率)	3,182 (39.9%)	378	113.5%	10,792 (39.3%)	11,760 (39.9%)	109.0%
販売費及び 一般管理費	1,355	96	107.6%	5,086	5,660	111.3%
営業利益 (営業利益率)	1,826 (22.9%)	282	118.3%	5,706 (20.8%)	6,100 (20.7%)	106.9%
経常利益 (経常利益率)	1,859 (23.3%)	292	118.7%	6,011 (21.9%)	6,300 (21.4%)	104.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (当期純利益率)	1,222 (15.3%)	177	117.0%	4,078 (14.9%)	4,120 (14.0%)	101.0%

# 為替レート（米ドル：日本円）

単位：円

165.00

155.00

145.00

135.00

125.00

8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月

■ 2025年度 ● 2026年度

第2四半期以降の  
利益率の安定化に  
向けた取り組み

ドル円の為替が円安に進んでいる状況から、以下の取り組みを強化しています。

- ①為替予約による利益率の安定化
  - ⇒円安に進んでいる状況だが、前期の為替水準と大きく変動なし
  - ⇒今期は既締結の為替予約比率が高いため、製造原価の低減、安定化に寄与
- ②海外サプライヤーとの現地通貨による価格交渉の強化及び、機動的な適地生産の徹底
  - ⇒中国においてはデフレ輸出の状況
- ③適正価格による値上げの実施
  - ⇒顧客企業にアナウンス済みであり、2月以降の納品より値上げ実施  
(否定的な反響なし)

# 配当

- 配当性向40%以上・DOE7.0%下限。15期連続の増配を計画

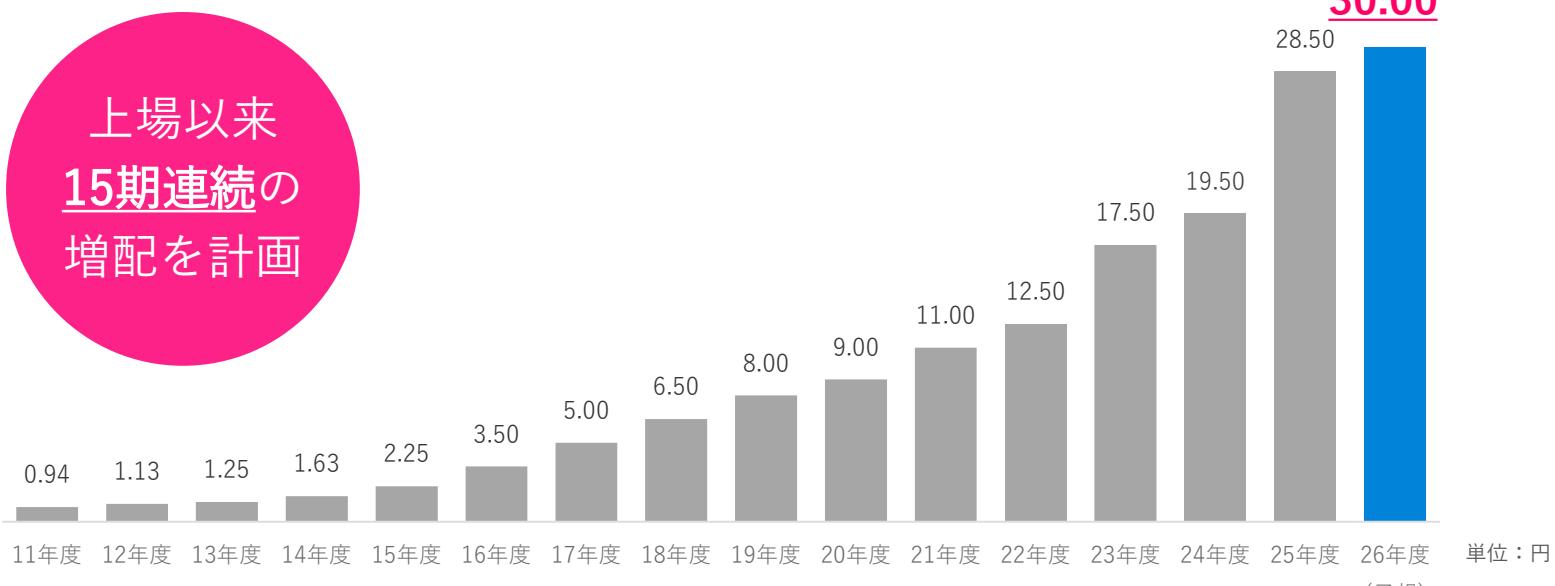
2026年度（予想）

配当金30.0円

25年度実績28.5円より1.5円増配

※2025年9月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、  
2025年8月期の期末配当は当該株式分割後の数値とした場合は28.5円となります。

«配当金の推移»



# **TRANSACTION**

株式会社 トランザクション

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-28-13 渋谷新南口ビル8階

TEL : 03-5468-9033

FAX : 03-5468-8010

<https://www.trans-action.co.jp/>

## <ご注意事項>

本資料は株式会社 トランザクションによって作成されたものです。

将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。